

1 基本（最終）目標

計画名	No	項目	指標	目標値(R5年度)	計画策定時	現状値	評価
第4期高知県健康増進計画 よさこい健康プラン21	1	健康寿命の延伸と都道府県格差の縮小	健康寿命の延伸と都道府県格差の縮小	・全国平均を上回る ・健康寿命最長県との差の縮小	男性 69.99年 <sup>1)</sup> (全国第46位) 女性 74.31年 (全国第29位) (平成25年)	男性 71.37年 (全国第42位) 女性 75.17年 (全国第18位) (平成28年)	—
	2	壮年期死亡率の改善	脳血管疾患の年齢調整死亡率(10万人あたり)	男性 34.0 女性 16.0	男性 37.6 <sup>2)</sup> 女性 20.2 (平成27年)	令和4年度公表予定	—
	3		虚血性心疾患の年齢調整死亡率(10万人あたり)	男性 34.0 女性 11.0	男性 36.1 <sup>2)</sup> 女性 11.7 (平成27年)	令和4年度公表予定	—
第7期高知県保健医療計画 「脳卒中」	1	脳血管疾患発症者数の減少	脳血管疾患発症者数	増加させない	2,826 <sup>3)</sup> (平成28年)	3,238 (令和2年)	×
	2		脳血管疾患受療率(10万人あたり)	入院 170以下 外来 策定時以下	入院 261 <sup>4)</sup> 外来 72 (平成26年)	入院 282 外来 181 (平成29年)	×
	3	脳血管疾患の年齢調整死亡率が低下する	脳血管疾患の年齢調整死亡率(10万人あたり)	再掲（よさこい健康プラン21の基本目標No.2参照）			
	4		脳梗塞の年齢調整死亡率(10万人あたり)	男性 16.0 女性 8.0	男性 17.7 <sup>5)</sup> 女性 9.0 (平成27年)	男性 17.2 女性 7.6 (令和元年)	○
	5		脳出血の年齢調整死亡率(10万人あたり)	男性 13.0 女性 4.0	男性 14.7 <sup>5)</sup> 女性 5.0 (平成27年)	男性 12.2 女性 6.9 (令和元年)	×
	6		くも膜下出血の年齢調整死亡率(10万人あたり)	男性 2.5 女性 4.0	男性 3.7 <sup>5)</sup> 女性 5.7 (平成27年)	男性 4.2 女性 4.8 (令和元年)	×
	7	脳卒中になっても自立している人が多い	発症90日後のmRS4-5	高知県脳卒中患者実態調査等によりデータを集積し、現状値を把握する。	—	—	—
	8		急性期病院から在宅等の生活の場に復帰した脳血管疾患患者の割合(%)	50以上	40.7 <sup>3)</sup> (平成28年)	37.3 (令和2年)	×
	9	回復期リハビリテーション病棟から自宅への復帰割合の増加	回復期リハビリテーション病棟からの在宅復帰率	高知大学及び高知県回復期リハビリテーション病棟連絡会の協力を得ながら、現状値を把握する。	—	77% <sup>6)</sup>	—
◆評価：◎目標値に達した ○目標に達していないが改善された △横ばい ×目標未達成 —評価不可							

(データソース)

- 1) 健康寿命の指標化に関する研究（厚生労働科学研究費補助金）
- 2) 人口動態統計特殊報告
- 3) 高知県脳卒中患者実態調査
- 4) 患者調査

- 5) 人口動態統計
- 6) 脳卒中患者の長期的アウトカムに関する研究

計画名	No	項 目	指 標	目標値（R5年度）	第4期計画策定時	現状値	評価
第7期 高知県 保健医 療計画 「心筋 梗塞等 の心血 管疾患」	1	虚血性心疾患患者数の減少	虚血性心疾患受療率 （10万人あたり）	入院 35人以下 外来 60人以下	入院 38人 <sup>4)</sup> 外来 65人 （平成26年）	入院 24人 外来 54人 （平成29年）	◎
	2	急性心筋梗塞による死亡率が低下する	急性心筋梗塞死亡率	7.5%以下	7.8% <sup>7)</sup> （平成27年）	9.1% （平成30年）	×
	3	大動脈解離による死亡率が低下する	急性大動脈解離死亡率	10.0%以下	7.6% <sup>7)</sup> （平成27年）	7.5% （平成30年）	◎
	4	一般市民により心肺機能停止が目撃された心原性の心肺停止症例の1か月後の生存者が増える	一般市民により心肺機能停止が目撃された心原性の心肺停止症例の1か月後の生存者数（5年間平均）	20人以上	15.2人 <sup>8)</sup> （平成23～27年）	17.6人 （平成27～令和元年）	—
	5	一般市民により心肺機能停止が目撃された心原性の心肺停止症例の1か月後の社会復帰者数が増える	一般市民により心肺機能停止が目撃された心原性の心肺停止症例の1か月後の社会復帰者数（5年間平均）	13人以上	10.8人 <sup>8)</sup> （平成23～27年）	10.2人 （平成27～令和元年）	—
	6	慢性期の生活の質の向上	1年以内の慢性心不全患者の再入院率（%）	慢性心不全患者の再入院率等についてデータを集積し、現状値を把握する。	—	29.5% <sup>9)</sup> （令和2年9月時点）	—
◆評価：◎目標値に達した ○目標に達していないが改善された △横ばい ×目標未達成 —評価不可							

（データソース）

4) 患者調査

7) 循環器疾患診療実態調査（JROAD）

8) 救急・救助の現況

9) 高知県急性非代償性心不全患者レジストリ研究

## 2 循環器病の「予防」に関する目標

計画名	No	項 目	指 標	目標値（R5年度）	第4期計画策定時	現状値	評価
第4期高知県健康増進計画 よさこい健康プラン 21	1	子どもの頃からの健康的な生活習慣の定着	運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合（小学5年生）	増加傾向	男子 58.0% <sup>10)</sup> 女子 39.0% （平成28年度）	男子 55.0% 女子 39.0% （令和元年度）	△
	2		朝食を必ず食べる子どもの割合（小学5年生）	95%以上	男子 86.0% <sup>10)</sup> 女子 85.0% （平成28年度）	男子 84.0% 女子 85.0% （令和元年度）	×
	3		肥満傾向にある子どもの割合（小学5年生の中等度・高度肥満傾向児の割合）	全国平均以下 男子 5.6% 女子 3.6% （平成28年度）	男子 5.3% <sup>11)</sup> 女子 4.3% （平成28年度）	男子 7.0% 女子 4.8% （令和元年度）	×
	4	働きざかりの健康づくりの推進	健康づくりに一歩踏み出した方の人数（高知家健康パスポートI取得者数）	50,000人 （令和3年度）	23,715人 <sup>12)</sup> （平成30年2月現在）	48,050人 （令和3年5月31日）	○
	5		高知県ワークライフバランス推進企業認証制度の「健康経営」認証事業所数	500事業所	－（新設） <sup>13)</sup>	認証申請事業所数 174事業所 （令和3年7月1日）	×
	6	分野ごとの健康づくりの推進「栄養・食生活」	適正体重を維持している人の割合 （肥満BMI25以上、やせBMI18.5未満の減少）	40～60歳代男性の肥満者の割合 31%以下 40～60歳代女性の肥満者の割合 19%以下 20歳代女性のやせの人の割合 18%以下	40～60歳代男性の <sup>14)</sup> 肥満者の割合 34.2% 40～60歳代女性の肥満者の割合 20.2% 20歳代女性のやせの人の割合 20.0% （平成28年）	令和4年度 県民健康・栄養調査 で公表予定	－
	7		食塩摂取量	8g以下	8.8g <sup>14)</sup> （平成28年）		
	8		野菜と果物の摂取量	野菜摂取量の平均 350g以上 果物摂取量100g未満の人の割合 30%以下	野菜摂取量の平均 <sup>14)</sup> 295g 果物摂取量100g未満の人の割合 55.6% （平成28年）		
	9		65歳以上低栄養傾向（BMI20以下）の割合	男性16%以下 女性20%以下	男性16.7% <sup>14)</sup> 女性21.2% （平成28年）		
	10		日常生活における歩数	20～64歳 男性 9,000歩 女性 8,500歩 65歳以上 男性 7,000歩 女性 6,000歩	20～64歳 <sup>14)</sup> 男性 6,387歩 女性 6,277歩 65歳以上 男性 4,572歩 女性 4,459歩 （平成28年）		
	11	分野ごとの健康づくりの推進「身体活動・運動」	運動習慣者の割合	20～64歳 男性 36%以上 女性 33%以上 65歳以上 男性 58%以上 女性 48%以上	20～64歳 <sup>14)</sup> 男性 20.4% 女性 19.0% 65歳以上 男性 50.0% 女性 38.2% （平成28年）		

◆評価：◎目標値に達した ○目標に達していないが改善された △横ばい ×目標未達成 －評価不可

（データソース）

10) 高知県体力・運動能力、生活実態等調査（高知県教育委員会）

13) 高知県雇用労働政策課調べ

11) 全国体力・運動能力・運動習慣等調査

14) 高知県県民健康・栄養調査

12) 高知県健康長寿政策課調べ

計画名	No	項 目	指 標	目標値（R5年度）	第4期計画策定時	現状値	評価
第4期 高知県 健康増 進計画 よさこ い健康 プラン 21	12	分野ごとの健康づくりの推進「飲酒」	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人（1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者）の割合	男性 15%以下 女性 7%以下	男性 16.4% <sup>14)</sup> 女性 9.3% （平成28年）	令和4年度県民健康・栄養調査で公表予定	－
	13		成人の喫煙率	男性 20%以下 女性 5%以下	男性 28.6% <sup>14)</sup> 女性 7.4% （平成28年）		－
	14	分野ごとの健康づくりの推進「喫煙」	受動喫煙（家庭・職場・飲食店）の機会を有する人の割合	家庭 3%以下 （ほぼ毎日） 職場 10%以下 （月1回以上） 飲食店 14%以下 （月1回以上）	家庭 8.5% <sup>14)</sup> （ほぼ毎日） 職場 28.9% （月1回以上） 飲食店 38.5% （月1回以上） （平成28年）		－
	20	分野ごとの健康づくりの推進「歯・口腔」	一人平均むし歯数	3歳 0.4本以下 12歳 0.5本以下 17歳 1.5本以下 （令和3年度）	3歳 0.55本 <sup>15)</sup> 12歳 0.97本 <sup>16)</sup> 17歳 2.53本 <sup>16)</sup> （平成28年度）	3歳 0.4本 12歳 0.68本 17歳 2.14本 （令和2年度）	○
	21		歯肉炎罹患率	12歳 20%以下 17歳 20%以下 （令和3年度）	12歳 23.4% <sup>16)</sup> 17歳 24.4% （平成28年度）	12歳 27.0% 17歳 23.5% （令和2年度）	×
	22		40歳代で進行した歯周病（4mm以上の歯周ポケットあり）に罹患している人の割合	25%以下 （令和3年度）	49.2% <sup>17)</sup> （平成27年度）	68.7% （令和2年度）	×
	23		80歳で自分の歯を20本以上有する人の割合	60%以上 （令和3年度）	59.3% <sup>17)</sup> （平成27年度）	55.7% （令和2年度）	×
	24		定期的に歯科健診を受けている人の割合	65%以上 （令和3年度）	53.5% <sup>17)</sup> （平成27年度）	62.4% （令和2年度）	○
	25	生活習慣病の発症予防と重症化予防対策「血管病」	特定健診の実施率	70%以上	46.6% <sup>18)</sup> （平成27年度）	52.5% （令和元年度）	○
	26		特定保健指導の実施率	45%以上	14.6% <sup>18)</sup> （平成27年度）	23.7% （令和元年度）	○
	27		メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率	平成20年度と比べて25%以上減少	13.39% <sup>19)</sup> （平成27年度）	10.63% （平成30年度）	×
	28		降圧剤の服用者での収縮期血圧140mmHg以上の人の割合（特定健診受診者）	男女とも30%未満	男性 34% <sup>20)</sup> 女性 31% （平成27年度）	男性 33% 女性 31% （平成30年度）	△
	29		収縮期血圧の平均値（40歳以上）	男女とも130mmHg以下	男性141mmHg <sup>14)</sup> 女性134mmHg （平成28年）	令和4年度 県民健康・栄養調査で公表予定	－
	30		収縮期血圧130mmHg以上の人の割合（40歳以上）	男女とも45%以下	男性 75.0% <sup>14)</sup> 女性 58.1% （平成28年）		
◆評価：◎目標値に達した ○目標に達していないが改善された △横ばい ×目標未達成 －評価不可							

（データソース）

14) 高知県県民健康・栄養調査

15) 歯科健康診査（1歳6か月及び3歳児健康診査：高知県）

16) 高知県学校歯科保険調査（高知県・高知県歯科医師会）

17) 高知県歯と口の健康づくり実態調査

18) 特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ

19) メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率計算シート

20) 市町村国保・協会けんぽ高知支部の特定健診結果

計画名	No	項 目	指 標	目標値（R5年度）	第4期計画策定時	現状値	評価
第7期高知県保健医療計画「脳卒中」	1	治療中の高血圧患者の血圧コントロールが良くなる	特定健診受診者（降圧剤の服用者）収縮期血圧140mmHg未満の者の割合	70%以上	男性 66% <sup>20)</sup> 女性 69% （平成27年度）	男性 67% 女性 69% （平成30年度）	○
	2	未治療の高血圧患者が減少する	高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率（人口10万人あたり）	270以上	248 <sup>4)</sup> （平成26年）	259.7 （平成29年）	○
	3	心房細動の未治療者が減少する	心原性脳塞栓症患者における心房細動合併者で治療中の割合	40%以上	36.0% <sup>3)</sup> （平成28年）	40.0% （令和2年）	◎
	4	糖尿病患者の減少	糖尿病患者の外来受療率（人口10万人あたり）	200以上	179 <sup>4)</sup> （平成26年）	176 （平成29年）	×
	5	喫煙者の減少	喫煙率	再掲 （よさこい健康プラン21「予防」に関する目標No.15参照）			
	6	特定健診受診率の向上	特定健診受診率	再掲 （よさこい健康プラン21「予防」に関する目標No.25参照）			
	7	特定保健指導実施率の向上	特定保健指導の実施率	再掲 （よさこい健康プラン21「予防」に関する目標No.26参照）			
第7期高知県保健医療計画「心筋梗塞等の心血管疾患」	1	喫煙者の減少	喫煙率	再掲 （よさこい健康プラン21「予防」に関する目標No.15参照）			
	2	未治療の高血圧患者の減少	高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率（10万人あたり）	再掲 （高知県保健医療計画「脳卒中」の「予防」に関する目標No.2参照）			
	3	未治療の糖尿病患者の減少	糖尿病患者の外来受療率（10万人あたり）	再掲 （高知県保健医療計画「脳卒中」の「予防」に関する目標No.4参照）			
	4	未治療の脂質異常症の減少	脂質異常症患者の年齢調整外来受療率（10万人あたり）	50人以上	43.9人 <sup>4)</sup> （平成26年）	55.4人 （平成29年）	◎
	5	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少	特定保健指導対象者の減少率	再掲 （よさこい健康プラン21「予防」に関する目標No.27参照）			
	6	特定健診受診率の向上	特定健診受診率	再掲 （よさこい健康プラン21「予防」に関する目標No.25参照）			
	7	特定保健指導実施率の向上	特定保健指導実施率	再掲 （よさこい健康プラン21「予防」に関する目標No.26参照）			
◆評価：◎目標値に達した    ○目標に達していないが改善された    △横ばい    ×目標未達成    –評価不可							

（データソース）

3) 高知県脳卒中患者実態調査

4) 患者調査

20) 市町村国保・協会けんぽ高知支部の特定健診結果

### 3 循環器病の「医療提供体制」に関する目標

計画名	No	項 目	指 標	目標値（R5年度）	第4期計画策定時	現状値	評価
第7期高知県保健医療計画「脳卒中」	1	救急車・ドクターヘリ搬送以外の患者で時間超過による禁忌でt-PA投与できなかった件数を減らす	救急車・ドクターヘリ搬送以外の患者で時間超過による禁忌でt-PA投与できなかった件数と割合	24件 30%	44件 <sup>3)</sup> 55% (平成27年)	—	—
	2	t-PA療法の実施率が上がる	t-PA投与した症例数/発症4.5時間以内来院でt-PA投与が禁忌でない症例数	高知県脳卒中患者実態調査等によりデータを集積し、現状値を把握する。	—	—	—
	3	発症から受診まで4.5時間以内の割合の増加	発症から受診まで4.5時間以内の割合	現状値以上	—	52.8% <sup>3)</sup> (令和2年)	—
	4	病院到着からt-PA療法開始までの時間が60分以内の割合が増える	病院到着からt-PA療法開始までの時間が60分以内の割合	高知県脳卒中患者実態調査等によりデータを集積し、現状値を把握する。	—	—	—
	5	脳卒中プロトコルの策定の検討	脳卒中プロトコルの策定	策定の検討を実施	なし	H31年4月 策定・運用開始	◎
	6	回復期医療機関退院時のFIMの上昇	回復期医療機関退院時のFIM	高知大学及び高知県回復期リハビリテーション病棟連絡会の協力を得ながら、現状値を把握する。	—	平均85点 <sup>6)</sup> (令和元年)	—
第7期高知県保健医療計画「心筋梗塞等の心血管疾患」	1	再灌流療法実施率が増加している	再灌流療法実施率	低下させない	91.4% <sup>21)</sup> (平成28年)	90.3% (令和2年)	×
	2	病院到着からバルーン拡張までの時間が90分以内の割合が増加	病院到着からバルーン拡張までの時間が90分以内の割合が8割以上	全ての急性心筋梗塞治療センターで実施可能	急性心筋梗塞治療センター2病院で実施可能 <sup>21)</sup> (平成28年)	急性心筋梗塞治療センター2病院で実施可能 (令和2年)	△
			発症から病院到着までの時間の平均が4時間以下	全ての急性心筋梗塞治療センターで実施可能	急性心筋梗塞治療センター2病院で実施可能 <sup>21)</sup> (平成28年)	全ての急性心筋梗塞治療センターで実施可能 (令和2年)	◎
	3	バイスタンダーCPRができる市民が増える	普通・上級救命講習の受講者数（1万人対）	140人以上	128人 <sup>8)</sup> (平成28年)	116人 (令和元年)	×
			24時間使用可能なAED設置数	1,500台以上	1,042台 <sup>22)</sup>	1,117台	○
	4	県民に対する急性心筋梗塞の早期治療に関する啓発	県民に対する急性心筋梗塞の早期治療に関する啓発	実施を検討	—	未実施	×
	5	回復期～慢性期の連携体制の構築	心臓リハビリテーションが実施可能な医療機関数の増加	直近値以上	中央8 <sup>23)</sup> 高幡2 幡多1 (平成29年8月時点)	安芸1 <sup>24)</sup> 中央7 高幡2 幡多2 (令和元年度)	◎

◆評価：◎目標値に達した ○目標に達していないが改善された △横ばい ×目標未達成 —評価不可

（データソース）

3) 高知県脳卒中患者実態調査

4) 患者調査

6) 脳卒中患者の長期的アウトカムに関する研究

20) 市町村国保・協会けんぽ高知支部の特定健診結果

21) 急性心筋梗塞治療センター治療成績

22) (一財)日本救急医療財団ホームページ

23) 診療報酬施設基準

24) NDB